

## 減価償却 R4 障害対応版 (Ver.18.14)のリリース

減価償却 R4 Ver.18.13 で確認された問題に対応した、減価償却 R4 Ver.18.14 を発行いたします。

### 1. 発行プログラム

発行プログラム	発行バージョン	バージョンアップの対象
減価償却 R4	Ver.18.14	Ver.18.10 以降
減価償却顧問 R4		
減価償却応援 R4		

※電子申告用プログラムは、現在公開中の Ver.18.1.e3 を使用してください。

Ver.18.13.e3 に対して、Ver.18.14 を上書きセットアップすると、そのまま Ver.18.14.e3 として電子申告ファイル出力が利用できます。

### 2. プログラムの提供方法

E i ボードのダウンロードマネージャーおよび会計マイページで公開いたします。

#### 2-1. E i ボードダウンロードの公開

2019年6月10日(月)

#### 2-2. マイページのダウンロード公開

2019年6月10日(月)

#### 2-3. 出荷切替

2019年6月18日(火)より Ver.18.14 に出荷を切り替えます。

### 3. 発生障害の対応内容

Ver.18.13 で確認された次の問題に対応しました。

#### 3-1. Weplat クラウドサーバーで、複数ユーザーが同時に帳票出力できない

##### 発生現象

Weplat クラウドサーバー環境で使用している場合、複数ユーザーが同時に固定資産台帳などの帳票を出力しようとする、1ユーザーしか出力できない(固定資産台帳の場合、処理状況を表示するプログレスバー5%で処理が止まってしまう)。

※ サーバーにクライアントプログラムをセットアップして、ターミナルサービスを利用して使用しているケースでも発生する場合があります。

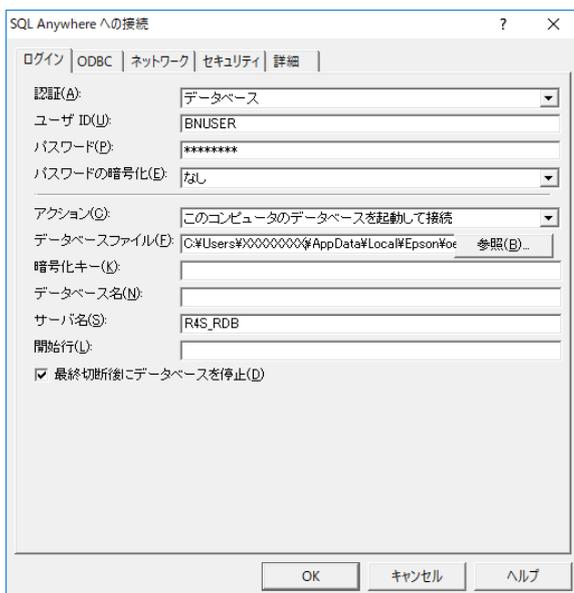
### 4. 機能改善の対応内容

Ver.18.13 で確認された次の問題の喚起を目的とした機能改善に対応しました。

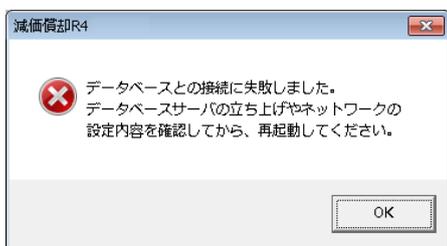
#### 4-1. クライアントで帳票出力時に「SQL Anywhere への接続」のエラーになる

##### 発生現象

ネットワーク版で使用しているクライアント(以下「クライアント PC」と表記)で、固定資産台帳などの帳票出力を実行すると、次の「SQL Anywhere への接続」の画面が表示される。



[OK]ボタンで閉じると、「データベースとの接続に失敗しました・・・」のエラーになり、減価償却 R4 が終了してしまう。



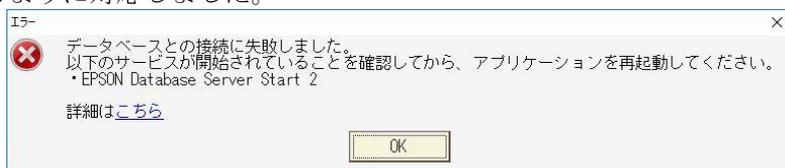
#### 発生原因

帳票出力を実行したクライアント PC で Windows のサービスに登録されている「EPSON DataBase Server Start 2」が「停止」していると発生します。手動で「開始」すると回避できます。

本来はクライアント PC 起動時に自動で開始されるサービスです。

#### プログラムの対応内容（機能改善内容）

クライアント PC で減価償却 R4 を起動したとき、そのクライアント PC の「EPSON DataBase Server Start 2」サービスが開始されていない場合に、次のエラー画面を表示して事前に喚起するように対応しました。



画面の「詳細はこちら」をクリックすると、対应手順の FAQ が表示されます。

#### ■サービスが開始されているのに現象が回避されない場合：

サービス「EPSON DataBase Server Start 2」はE i ボードのセットアップで登録されるため、登録状態が不完全などの理由によりエラーになっている可能性があります。該当クライアント PC でE i ボードのクライアントプログラム(E i ボード、R4 データベースクライアント)のアンインストール、再セットアップを実行してください。

以上、よろしくお願いいたします。